

高校版学テ!?

高教組委員長
竹島久美

高校教育が大きく変わるう
高教組委員長竹島久美のインタビューです。
高大接続では、共通一次試験の時代から数えると三〇年近く試験が廃止され、高等学
校基礎学力テスト(仮称)「高
校基礎学力テスト(仮称)」(平成三十一年度から実施)と「大学入学希望者学力評価
テスト(仮称)」(平成三十一年度から実施)の二つの新たなテストが導入される。このうち「基礎学力テスト」

「高等学
校教育の学習意欲の喚起、学習改善を図るため」
保・向上を図るための仕組み

回出かけてしまいました。二度目からは夫がレンタカーを運転するようになり、ぐるりと南島を巡り、マウント・クック(写真)を中心に山歩きを満喫しました。短歌の方は、退婦教のサークルでいるはを学び、今では山以上に私の生活の柱となりつつあります。五年間毎月八首を発表してきた短歌芸術は終刊となりましたが、「短歌九条の会こうち」という新しい場も生まれてます。高退協の先輩から紹介していただいた専門学校の仕事のおかげで、英語の授業の初めに「今日の一首」と、若者に秀歌を紹介する機会にも恵まれています。昨年はこの事を詠んだ歌が受賞するというビックリポンもありました。短歌の魅力若者にうまく伝えるには、自らの歌を磨くことも大切です。常に舌頭千転を心し、秀歌暗唱に努め、歌のリズムを身につけ?いいえ私はず

趣味悠々

へ流す仕組みにも見えてきて
八月の進学協の進路指導研
修セミナーの講師の文科省高
等教育局の方も、義務の学テ
のような機能だと言っている
が「高校基礎学力テスト」
「大学基礎学力テスト」
「大学入学希望者学力評価
テスト」の三つが並ぶというこ
とに、この内容を見れば高
校版学テになるであろうこと
は容易に想像がつかれます。
このテストだけではなく、現
在の指導要領の方向性もあ
わせて、高校教育が良くなる
に進む改革とはどう思えて
ますか。
(文中の引用は、「高大接
続システム会議「中間まとめ」
(二〇一五年九月一日)より」)

てくてく

田上悦子

共働きの手抜き主婦は、退職後はその後めたさを返上するはずでした。ところが退職後に始めた山と短歌は、メッチャ時間を喰うもの。私は相も変わらず家を空け、台所よりは歌集を前に過しています。ゼロからのスタートは、初歩の易さからとにかく楽しい。新しい事を始めるとはこういう事かと、どっぷりとハマっています。山を、空を、風を、そして足裏に踏みしめるものを感じながら無心に歩く。時にことばをさがして遊ぶ?実際は残り少ない時間がゆったりと流れ、過ぎゆく時間も惜しくない。目標があり、それに近づいていく実感。山にも短歌にも共通して感じている充実感。一歩一歩てくてくと歩くのです。そもそも私の山は、夫に誘われての鏡川辺りの散歩から



発展し、白髪山へ、伊予富士へ、網附へと移っていったもの。なのでいつも初心者二人の山歩き、登山とは呼べません。5~1月に四国の山々を中心に歩いています。ふと冬に山へ?と思いつき、季節が逆のニュージーランドへ行っただけです。さすが世界一の散歩道、そのトランピング(てくてく歩き)が気に入り、続けて三

奪還—主権は国民!

小林節講演会から

別役 美佐

二階席を開放して、参加者は、69名。11月3日、憲法公布
60周年、市民の日の集い「憲
法の危機—講師 小林節(慶
応義塾大学名誉教授)の九
条講演会」である。(「こう
ち」九条講演

「九条の会」「九条の会」は、憲法を擁護する民間の組織で、小林節氏が会長を務める。講演会では、小林氏が憲法九条の重要性を訴え、主権在民の原則を強調した。小林氏は、戦後70年が経過したが、憲法は依然として日本の根幹を支えていると述べた。また、憲法改正論には慎重であり、国民の同意なくしては改正すべきでないとした。小林氏は、憲法を大切にし、主権を国民に奪還すべきだと主張した。

「九条の会」は、憲法を擁護する民間の組織で、小林節氏が会長を務める。講演会では、小林氏が憲法九条の重要性を訴え、主権在民の原則を強調した。小林氏は、戦後70年が経過したが、憲法は依然として日本の根幹を支えていると述べた。また、憲法改正論には慎重であり、国民の同意なくしては改正すべきでないとした。小林氏は、憲法を大切にし、主権を国民に奪還すべきだと主張した。



「一人ぼっちの高齢者をな
くそう」を合言葉に、毎年
「高知県高齢者大集会」が
開かれています。今年29回は
11月(日)安芸市総合社会福
祉センターで開かれ、約120
名が参加しました。4月に退
社した高知市在住の高齢者
たち、夫の勧めもあり、私
ら夫婦が参加したいと思っ
たが、状況の分からないとい
う状況が難しかったです。午
中は、体験分科会があり、ま
た、午後からは、全体参加
しました。勇壮な「弥陀太
鼓」の演奏が始まりました。
講師は東川地域おこし協
会長の東川伊尾木川でした。

第29回高知県高齢者大集会に安芸市総会参加して 池上 圓

府が必要で
苦手を組む必要が
ある。自分の
声で訴えてい
くことが大切
である。自分
たちの声も
聞かれました。